

橋梁技術発表会 及び 講演会

---伊藤學賞表彰式---

コロナ対策を考慮
定員変更の可能性有

新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

13:00~13:10 開会の辞 (一社)日本橋梁建設協会
会長 満岡 次郎

第1部(技術発表)

13:10~13:50 架設小委員会

1. 天龍峡大橋(仮称)の工事報告
~ 名勝「天龍峡」に架かる鋼上路式アーチ橋 ~

休憩

14:00~14:40 床版小委員会

2. 疲労に強い鋼床版と取替え鋼床版
~ 近年の橋建協の取り組み ~

14:40~15:20 海外事業委員会

3. カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設工事
工事報告
~ バングラデシュ初となる大規模鋼橋架設工事 ~

休憩

第2部(伊藤學賞 表彰式)

15:30~15:50 1. 受賞者紹介

15:50~16:00 2. 表彰式

16:00~16:20 3. 伊藤學賞受賞者による講演

休憩

第3部(特別講演)

16:35~17:15

珍橋・奇橋を架けよう!

(公財)東京都道路整備保全公社
道路部橋梁担当課長 紅林 章央

17:15~17:20 閉会の辞

橋梁技術発表会
実行委員会
委員長 上原 正

開催会場

東京地区 : 10月02日(金)
大阪地区 : 10月07日(水)
東北地区 : 10月16日(金)
北海道地区 : 10月23日(金)
九州地区 : 11月06日(金)
中部地区 : 11月13日(金)
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

日時 令和2年10月2日(金)
13:00~17:20会場 銀座プロッサム(中央会館)ホール
東京都中央区銀座2-15-6申し込み Webサイト <http://www.jasbc.or.jp/>
受付は令和2年8月21日~9月18日

※申し込みは、Webサイトからのみです。

継続教育 CPDS 認定予定

資料配布

論文及びPPTのpdfは事前にWebサイトに掲載致しますので、必要に応じ出力し持参願います。

発表概要

【天龍峡大橋(仮称)の工事報告】

天龍峡大橋(仮称)は、一般国道474号三遠南信自動車道飯高道路の一部として建設された鋼上路式アーチ橋(バスケットハンドル型固定アーチ)です。架橋地は名勝「天龍峡」に位置するため、周辺の景観に配慮して、通常のアーチ橋に比べて扁平でスレンダーな形状となっています。

本橋は、アーチリブをケーブルエレクション斜吊り工法で架設した後、アーチ径間の補剛桁とプレキャストPC床版をケーブルクレーンで架設し、側径間はトラッククレーンおよびクローラクレーンにより架設しました。架橋位置が名勝であるため、地形改変を最小とした架設設備としました。また、架設精度向上のために各種の取り組みを実施するとともに、JR飯田線直上の架設であったため、安全対策の徹底を図りました。

【疲労に強い鋼床版と取替え鋼床版】

鋼床版は、軽量であり架設期間を短縮できることから、都市内高速道路や長大橋に採用されてきました。しかし、大型車交通量の多い路線の鋼床版から疲労損傷が発見され、疲労対策が必要になってきています。鋼床版の疲労損傷は、1990年代中頃より報告が増加していますが、疲労設計が行われていない橋梁での報告が多く、疲労耐久性向上の余地があると考えられています。本発表では、近年の橋建協の取り組みとして、官学と協力して行っている高耐久化への取り組みを紹介いたします。

また、近年実施例が増えている既設RC床版の更新工事にも鋼床版が使用される例があります。本発表では、取替え鋼床版のニースと利点を整理し、調査した取替え鋼床版の事例紹介をすると共に、いくつかの諸元を系統的にまとめ、設計・施工上の特徴や留意点について報告します。

【カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設工事 工事報告】

本橋が架設される首都ダッカと第2の都市チッタゴンとの間はバングラデシュのGDPの5割を占める重要な経済回廊です。近年の交通量増加により当路線の各地で慢性的に交通渋滞が多発していたことを背景に、2008年から当局は同路線を2車線/4車線から6車線/8車線とする拡幅工事を進めており、3橋の建設工事はその一環となりました。

3橋は細幅箱桁を主桁とした合成床版を有する連続桁です。全橋送出し工法が採用されており、3橋の内最大橋長となるグムティ第2橋では、橋長1410m全量を両岸から送出す大規模な送出し架設を実施しました。

本発表では、バングラデシュ初となる大型規模鋼橋架設工事から得られた技術的知見や直面した課題について発表し、同国での鋼橋架設工事に活かされる事を目的とします。